

魅力ある集会活動の指導のポイント

1 集会活動のある場面で・・・

集会活動ってどんな時にやるの？



子どもたちがやりたいと言わないから、なかなかできない・・・。

こんなことはありませんか？どのようなきっかけで集会を行っているのでしょうか。

子どもたちが楽しみにしている思いや声をキャッチして活動にしていきます。

- ☆議題箱を活用したり、朝の会などで、やりたいことや楽しみなことを発表できるコーナーを設けたりすることで、一人の思いが共有されて集団の思いに発展し、集会活動へとつながります。
- ☆係活動やたてわり活動から発展するものや、学級目標の完成や到達度に関わるもの、学校行事や代表委員会での話し合いをもとに学級で行う集会などがあります。誕生日集会など、定期的に行うものもあります。

みんなで、こんな集会にしたいな。



集会をするには、どんなことが必要かな？

子どもが、自分たちで集会活動を進めることができるように、どんな手立てをしたらいいのでしょうか。

教師が事前に集会活動で育てたい力を明確にもちましょう。

子どもがめあてに向かって活動ができるように、活動全体にわたって手立てを考えます。

☆集会活動では、まず子どもたちと集会のめあてを決めましょう。

「計画→準備・練習→実践→振り返り」の一連の活動が継続的に繰り返されるようにします。

☆子どもが見通しをもって活動ができるように、集会の流れを活動計画表で掲示しましょう。

☆自分たちの力でやりとげたと実感できるように、全員で役割分担をしましょう。

☆実践した後の振り返りを大切に、認め合いや次の活動に生かしましょう。

めあてに沿ったプログラムの内容にしましょう。

その活動によって子どもたちにどんな力が育つのかを考えることが大切です。子どもたちがいろいろな種類の集会を経験し、集会の目的をもって計画・準備ができるようにします。

集会の基本的な活動過程は変えず、内容を子どもと話し合って決めましょう。

めあてや活動計画はどうやって作るの？

どうやって役割分担をするの？

振り返りで大切にすることは何だろう？



それでは、実際の活動の中で、具体的な指導のポイントを見ていきましょう。

2 具体的な活動例と指導のポイント 活動名 「 **輝け！4年1組 クラス運動会を成功させよう** 」

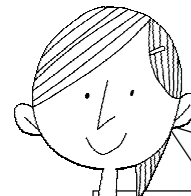
<活動のきっかけ>

運動会盛り上がったね。

玉入れが楽しそうだったね。僕たちもやりたかったなあ。

僕は綱引きをやってみたかった。

クラスの運動会を計画して、みんなでやろうよ。



<教師のねらい>

「みんなで協力して活動をつくった」と実感できるようにしていきたい。そのために、一人ひとりが役割をもち、声をかけ合いながら取り組めるようにしよう。

ポイント！

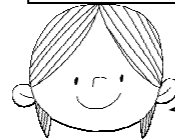
★自分の思いや全体の見通しをもって活動できるように、**みんなで活動のめあてや全体計画を立てます。**

チェック！

- 教師のねらいは明確ですか？
(学級生活の向上・人間関係の改善など)
- めあてはできましたか？
⇒前回の集会の振り返りを生かし、
子どもの思いを大切にします。
⇒集会名にもめあてが意識できる言葉を。
- 内容はめあてに沿っていますか？
- 活動計画表はできましたか？
- 集会当日までのカレンダーを作りましたか？

<計画>

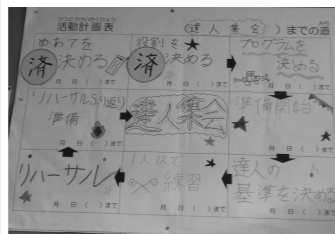
集会のめあてを大切に



みんなで協力してつくる運動会にしたいな。

<クラス運動会のめあて>
一人ひとりが輝き、みんなで協力してつくるクラス運動会にしよう

活動全体の計画表(例)



《プログラム》

- 1 始めの言葉
- 2 開会のイベント
- 3 応援合戦
- 4 玉入れ
- 5 綱引き
- 6 感想発表
- 7 先生のお話
- 8 終わりの言葉

<準備>

一人ひとりに役割を



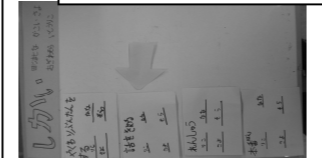
〇〇さん、一緒に準備しよう。頑張ろうね！

開会のイベントは何がいいかな？
みんなでやりたいな。



みんなで話し合ってみよう。

役割の活動計画表(例)



<実践>

実践の喜びを十分に実感できるように

大変だったけど、みんなで準備できてよかったね。みんなで話し合ったおかげで、競うだけではなく、みんなでつくるクラス運動会になったね。



★活動の中で困ったことが起きた時には、同じ役割の友達と相談をします。その中でみんなに相談したいことが見つかった時には、学級のみんで話し合います。

ポイント！

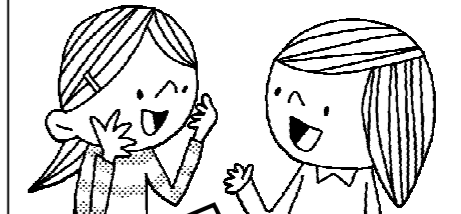
★子どもたちが具体的な姿で振り返ることができるように、写真や動画、子どものつぶやきなどを記録しておきます。

★子どもたちが協力して集会を実現できたときと実感することができるように、役割を果たしながら友達とかかわり合って活動を楽しんでいる姿を称賛します。

<振り返り>

次の活動への意欲となるように

- 前の集会よりも友達と協力して準備を頑張ることができたよ。
- みんなでつくったクラス運動会だったから楽しかった。4年1組でよかったな。
- 聖火リレーでクラス運動会を盛り上げることができてよかった。
- 〇〇さんに「そのアイデアいいね」と言ってもらえてうれしかった。
- やりたかったことが本当にできて、頑張ってたかったって思った。



ポイント！

★子どもたちが、自分が活動をよりよくするために役立ったと実感できるように、具体的な姿や言葉で振り返る場や時間を設定します。

チェック！

- 集会のめあてに合わせた振り返りをしましたか？
- 活動全体にわたった振り返りになっていますか？
- 一人ひとりのよさが認め合える方法になっていますか？
- 発達段階に応じて、互いに評価し合えるような振り返りになっていますか？

3 まとめ



どのようなきっかけで集会活動を行っているのでしょうか？

子どもにとって集会は、楽しい活動です。子どもが喜んで行う集会活動は、自主性や望ましい人間関係を築くよい機会でもあります。みんなで遊んだ休み時間の後などに、「どうだった？」と感想を簡単に聞いてみましょう。「明日も楽しみだな」「もっと長い時間遊びたいよ」「〇〇して遊びたいな」というようなつぶやきが聞こえてくることでしょう。毎日の生活の中での子どものつぶやきをきっかけにして集会につなげることもできます。

「きっかけ」を大事にして、学級みんなで楽しい集会をしようという気持ちになるようにすることが大切です。



子どもが自分たちで集会活動を進めることができるように、どんな手立てをしたらいのでしょうか？

集会への思いや願いを出し合うことで、共に創り上げようという気持ちが高まります。子どもの「やってみたい」という思いから集会へとつながりますが、ただ楽しいだけでなく、何のために集会をするのか目的をはっきりさせておきます。そして、子どもたちの考えを聞きながら集会を計画していきます。学級全員で役割分担をすることも大切です。集会における自分の役割をもつことで、「集会を成功させるんだ」という意識が生まれ、主体的に取り組めるようになります。振り返りでは、集会をよりよいものにしていこうとする姿勢を育てていきましょう。



同じ内容の集会ばかりになってしまいます。
振り返りを生かしたいのですが…

同じ集会でも「振り返りを生かして集会のめあてを変えていくこと」で創意工夫された質の高い活動になります。例えば「学級で球技大会」を開くとします。

1回目

集会のめあて「みんなで集会を楽しむ」⇒振り返り「ボールがなくてつまらなかった」

2回目

「みんなにパスし、もっと楽しくしよう」⇒「Aさんがみんなにパスをしていた」
(ルールを工夫することにしよう)

3回目

「みんなのがんばりをみんなで認め合える集会にしよう」

(いろいろな賞をつくろう 応援を工夫しよう) 準備や応援にも目を向けた活動に。

めあてを変えていくことによりいつもの集会が単なる楽しさをこえて、一人ひとりのよさや頑張りを認めようとするものになっていくでしょう。

4 ディスカッションタイム



- ① これまでに、どんな集会活動を実践しましたか？
(子どものどんな思いから出てきた集会活動ですか？内容は？)
- ② 集会活動を振り返る時にはどのような内容や方法で行っていますか？
(次に生かせる振り返りにするためのアイデアは？)
- ③ 集会活動で困っていることは？

